

第3章 事業実施を予定している区域及びその周囲の概況

事業実施を予定している区域及びその周囲の概況を、広島市あるいは広島県の公共データ等により把握した。なお、調査対象範囲は、原則として事業計画地周辺の安佐南区、安佐北区とした。

3-1 自然的状況

1) 大気環境

(1) 気 象

事業計画地周辺は瀬戸内気候であり、四季を通じて温暖である。

事業計画地周辺の気象観測所である「三入地域気象観測所」における過去 10 年（平成 12 年～平成 21 年）の気温、降水量等は、表 3-1-1 に示すとおりである。なお、気象観測所位置図は、図 3-1-1 に示すとおりである。

これによると、平均気温は 14.8℃、降水量は 1,595.6mm、風速は 1.1m/s であり、風向は南西から南南西方向の風が卓越している年が多い。

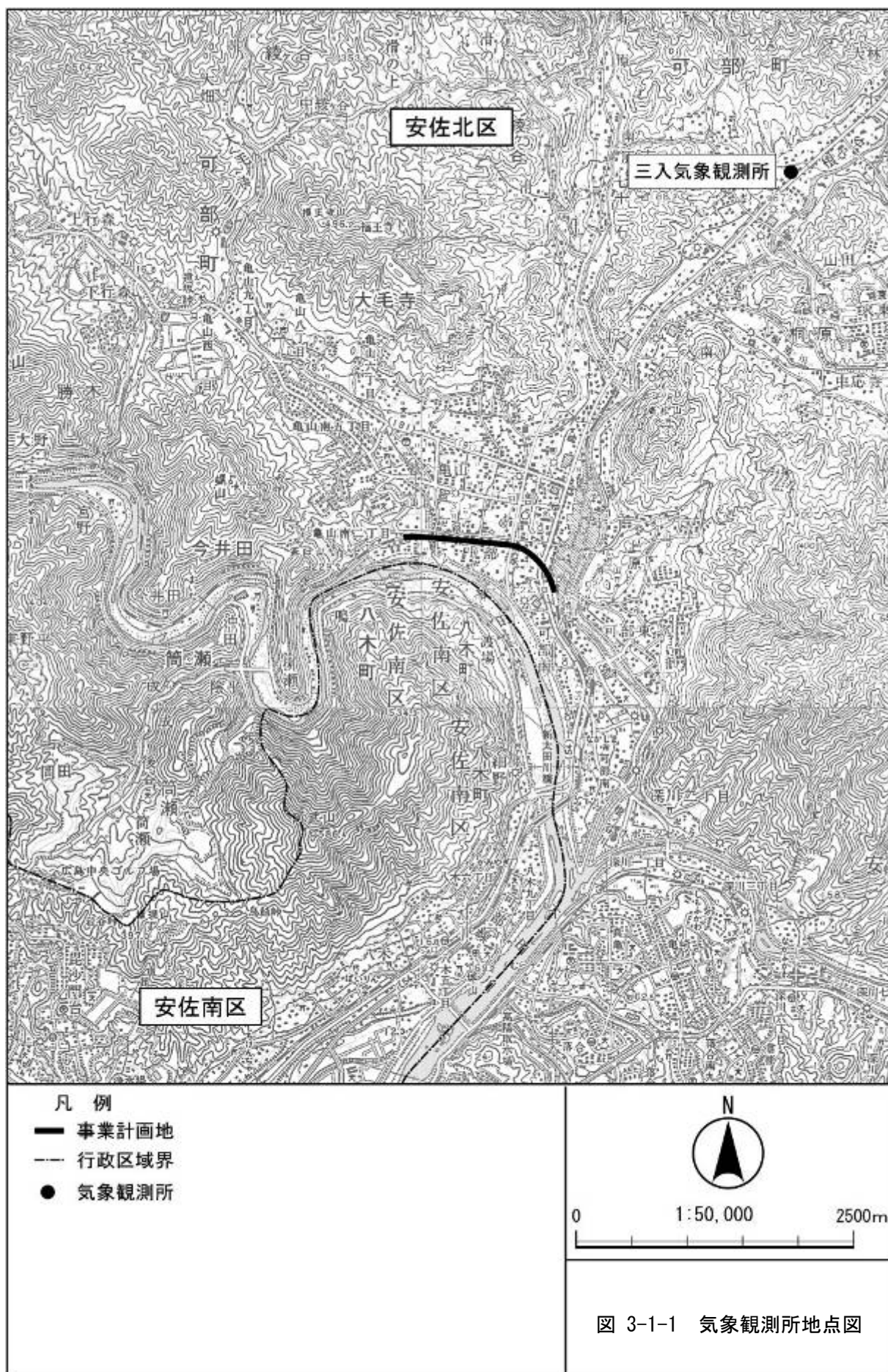
また、平成 21 年の月別の気温、降水量等は表 3-1-1 に示すとおりであり、平均気温は 8 月に最高値となり 25.8℃、1 月に最低値となり 3.3℃、降水量は 7 月に最高値となり 548.5mm/月、5 月に最低値となり 34.0mm/月、平均風速は 5 月及び 7 月に最高値となり 1.4m/s、12 月に最低値となり 0.7m/s をそれぞれ記録している。

表 3-1-1 主な気象要素の観測結果（三入地域気象観測所）

年次	気温（℃）			降水量（mm）	風速（m/s）	風向（m/s）
	平均	極 値				
		最高	最低	総量	平均	最多
平成 12 年	15.5	36.6	-3.0	1,455.0	1.6	北北東
平成 13 年	15.3	37.8	-5.2	1,742.0	///	南西
平成 14 年	14.5	35.8	-5.0	1,275.0	1.1	南西
平成 15 年	14.3	34.6	-8.1	1,638.0	1.1	北
平成 16 年	15.1	37.0	-7.3	1,974.0	1.1	南西
平成 17 年	14.3	35.1	-5.9	1,527.0	1.2	南西
平成 18 年	14.6	36.1	-5.6	2,180.0	1.1	南南西
平成 19 年	15.0	36.7	-4.4	1,251.0	1.2	南西
平成 20 年	14.6	35.6	-4.6	1,350.5	1.0	北東
平成 21 年	14.6	34.8	-4.4	1,563.0	1.1	北
1 月	3.3	13.4	-4.4	52.5	0.9	北北西
2 月	6.1	18.9	-2.5	108.5	1.1	南西
3 月	7.8	21.4	-2.4	82.5	1.2	北北西
4 月	13.2	28.2	0.6	94.5	1.3	西
5 月	18.3	30.4	6.7	34.0	1.4	北東
6 月	22.0	32.0	9.8	285.0	1.3	南西
7 月	24.6	32.2	17.8	548.5	1.4	南西
8 月	25.8	34.8	15.6	48.0	1.1	南西
9 月	22.2	32.9	12.3	58.5	1.1	北東
10 月	16.1	28.3	6.4	45.0	1.0	北
11 月	10.7	23.3	0.5	138.5	0.9	西南西
12 月	5.1	17.7	-4.4	67.5	0.7	西南西
平均	14.8	36.0	-5.4	1,595.6	1.1	—

注 1. 表中の「///」は、測器の故障などで値が得られない、または統計値を求める期間に観測を行っていないことを示す。

資料：気象庁ホームページ



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000（地図画像）及び数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平22業複、第556号）」

(2) 大気質

① 一般環境大気測定局及び自動車排出ガス測定局

事業計画地周辺における一般環境大気測定局は「可部小学校測定局」である。なお、事業計画地周辺に自動車排出ガス測定局は存在しない。

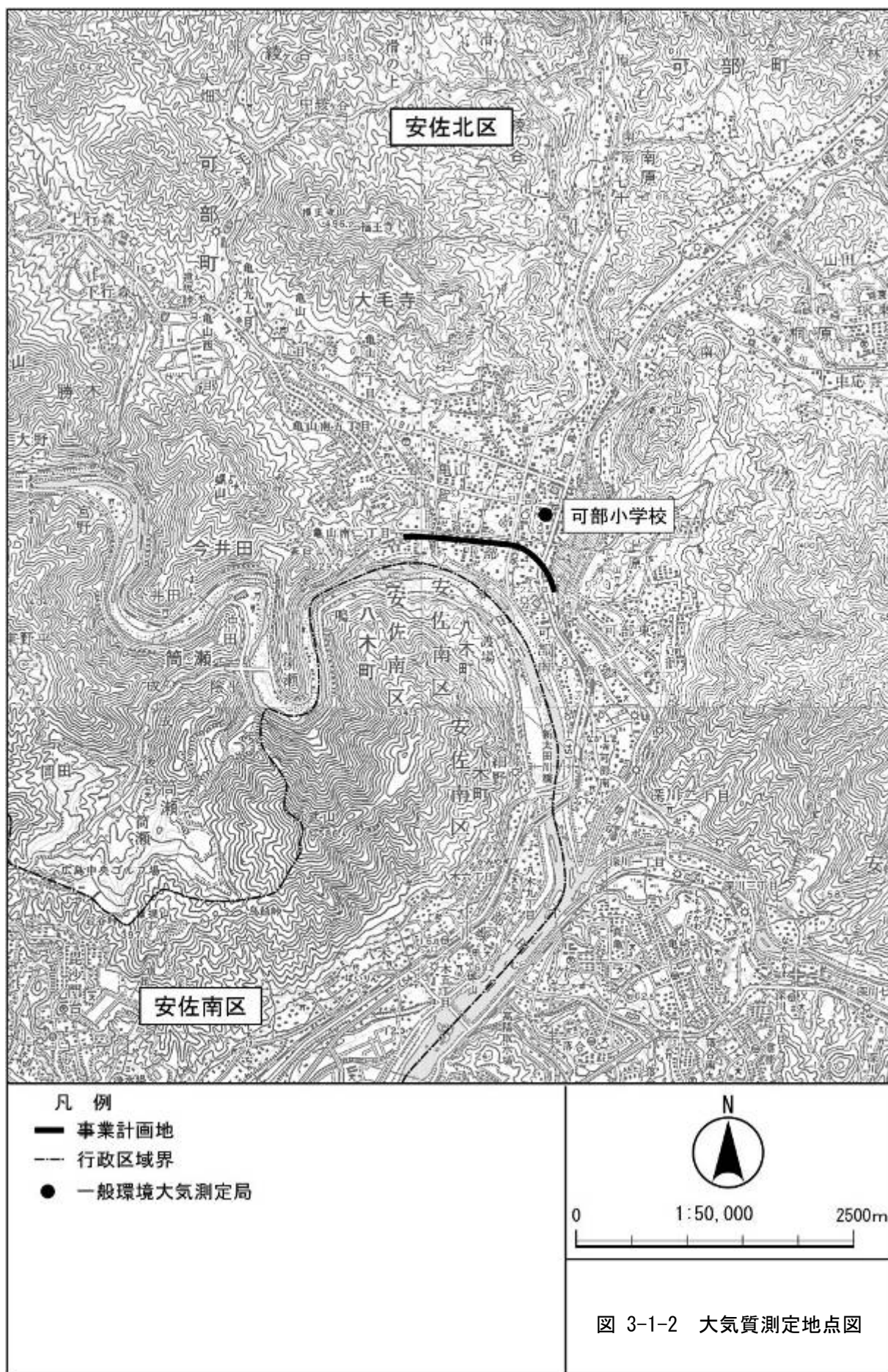
測定局における測定項目は表 3-1-2 に、項目毎の大気質測定結果は表 3-1-3 に、測定地点は図 3-1-2 に示すとおりである。なお、可部小学校測定局では、二酸化硫黄及び一酸化炭素の測定は行われていない。

これによると、可部小学校測定局では、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は環境基準値を満たしているが、光化学オキシダントは環境基準を満たしていない。なお、光化学オキシダントは、広島市内の 7 測定局全てで環境基準に適合していない。

風向別の平均風速は、1.14～3.14m/s となっており、比較的静穏な風環境である。風向は、北（N）方向に卓越している。なお、無風状態が 2.2%となっている。

表 3-1-2 可部小学校における測定項目

項 目	可部小学校
窒素酸化物	○
浮遊粒子状物質	○
二酸化硫黄	×
一酸化炭素	×
光化学オキシダント	○
風向構成比及び風速	○
事業計画地からの距離	350m



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000（地図画像）及び数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平22業複、第556号）」

表 3-1-3(1) 大気測定局測定結果（平成 20 年度）

【窒素酸化物】			一般局
項 目		単位	可部小学校
用途地域			二種住居
一酸化窒素	有効測定日数	日	336
	測定時間	時間	8,071
	年平均値	ppm	0.004
	1 時間値の最高値	ppm	0.053
	日平均値の年間 98% 値	ppm	0.013
一酸化窒素	有効測定日数	日	336
	測定時間	時間	8,071
	年平均値	ppm	0.011
	1 時間値の最高値	ppm	0.050
	1 時間値が 0.2ppm を超えた時間数とその割合	時間	0
		%	0.0
	1 時間値が 0.1ppm 以上 0.2ppm 以下の時間数とその割合	時間	0
		%	0.0
	日平均値が 0.06ppm を超えた日数とその割合	日	0
		%	0.0
	日平均値が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下の日数とその割合	日	0
		%	0.0
	日平均値の年間 98% 値	ppm	0.019
	98% 値評価による日平均値が 0.06ppm を超えた日数	日	0
窒素酸化物	有効測定日数	日	336
	測定時間	時間	8,071
	年平均値	ppm	0.015
	1 時間値の最高値	ppm	0.098
	日平均値の年間 98% 値	ppm	0.030
	年平均値 NO _x /(NO+NO _x)	%	76.3

【浮遊粒子状物質】		一般局
項 目	単位	可部小学校
用途地域		二種住居
有効測定日数	日	365
測定時間	時間	8,730
年平均値	mg/m ³	0.031
1 時間値が 0.20mg/m ³ を超えた時間数とその割合	時間	0
	%	0.0
日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた日数とその割合	日	0
	%	0.0
1 時間値の最高値	mg/m ³	0.110
日平均値の 2%除外値	mg/m ³	0.054
日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた日が 2 日以上連続したことの有無	有× 無○	○
環境基準の長期的評価による日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた日数	日	0

資料：「平成 21 年度版 広島市の環境（広島市環境白書）」（平成 22 年 3 月、広島市環境局）

表 3-1-3(2) 大気測定局測定結果（平成 20 年度）

【光化学オキシダント】		一般局
項 目	単位	可部小学校
用途地域		二種住居
昼間測定日数	日	365
昼間測定時間	時間	5,427
昼間の 1 時間値の年平均値	ppm	0.032
昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた日数と時間数	日	126
	時間	731
昼間の 1 時間値が 0.12ppm 以上の日数と時間数	日	1
	時間	1
昼間の 1 時間値の最高値	ppm	0.128
昼間の日最高 1 時間値の年平均値	ppm	0.053

風向 項目	一般局	
	可部小学校	
	頻度 (%)	平均風速 (m/s)
NNE	15.8	2.27
NE	2.1	1.76
ENE	0.6	1.27
E	0.6	1.15
ESE	0.5	1.15
SE	0.5	1.17
SSE	1.2	1.74
S	7.3	3.14
SSW	11.8	3.14
SW	3.8	1.59
WSW	2.1	1.19
W	3.3	1.14
WNW	4.1	1.36
NW	8.4	1.70
NNW	13.1	1.93
N	22.9	2.23
CALM	2.2	—

資料：「平成 21 年度版 広島市の環境（広島市環境白書）」（平成 22 年 3 月、広島市環境局）

② 有害大気汚染物質調査結果

事業計画地周辺では、有害大気汚染物質の調査地点はない。

③ ダイオキシン類調査結果

事業計画地周辺における大気中のダイオキシン類調査結果は、表 3-1-4 に示すとおりである。これによると、可部小学校における調査結果は、環境基準を満たしている。なお、市内の全調査地点においても環境基準を満たしている。

表 3-1-4 ダイオキシン類（大気環境）調査結果（平成 20 年度）

調査地点	第 1 回 (5 月)	第 2 回 (8 月)	第 3 回 (11 月)	第 4 回 (2 月)	年平均値	環境基準値
可部小学校	0.076	0.097	0.029	0.059	0.065	0.6

資料：「平成 21 年度版 広島市の環境（広島市環境白書）」（平成 22 年 3 月、広島市環境局）

(3) 騒音

事業計画地周辺の道路における自動車（道路交通）騒音に関する環境基準適合状況は、表 3-1-5 に示すとおりである。これによると、環境基準適合率は昼間で 89～100%、夜間で 76～100%となっている。

また、道路近傍における自動車騒音測定結果は表 3-1-6 に、測定地点は図 3-1-3 に示すとおりである。これによると、事業計画地周辺の道路近傍騒音は昼間 59.5～76.7dB、夜間 51.4～72.7dB であり、昼夜ともに最大となったのは、一般国道 54 号沿いのNo.2 の地点であった。

鉄道騒音は、「平成 21 年度版 広島市の環境（広島市環境白書）」（平成 22 年 3 月、広島市環境局）によると、広島市内で新幹線を対象に 3 地点、在来線を対象に 1 地点において測定が行われているが、事業計画地周辺に測定地点は無い。

航空機騒音は、「平成 21 年度版 広島市の環境（広島市環境白書）」（平成 22 年 3 月、広島市環境局）によると、広島西飛行場を対象に西区内の 9 地点において測定が行われているが、事業計画地周辺に測定地点は無い。

表 3-1-5 道路交通騒音に関する環境基準適合状況（路線別適合率）（平成 20 年度）

道路種別	路線名称	評価区間数	対象戸数 (百戸)	環境基準適合率 (%)	
				昼間	夜間
一般国道	国道 54 号	12	16	89	78
	国道 54 号（可部バイパス）	5	6	100	100
	国道 191 号	5	8	89	76
主要地方道	広島三次線	18	58	90	87
	広島中島線	9	33	95	93
一般県道	宇津可部線	1	4	100	100
	下佐東線	1	2	100	100
	可部停車場線	1	2	100	100
	今井田緑井線	2	12	100	100
	南原峽線	1	2	100	100
	八木広島線	1	1	100	100
	八木緑井線	1	10	100	84

注 1. 路線別適合率は、道路沿道の各住居における基準適否を路線別に集計したものである。

注 2. 環境基準適合率(%) = 環境基準適合戸数 / 対象戸数 × 100

資料：「平成 21 年度版 広島市の環境（広島市環境白書）」（平成 22 年 3 月、広島市環境局）

表 3-1-6 自動車騒音測定結果（平成 20 年度）

No.	評価区間名称	測定地点	騒音レベル（dB）	
			昼間	夜間
1	一般国道 54 号（可部バイパス）	安佐北区可部 7 丁目 22 番	59.5	51.6
2	一般国道 54 号	安佐南区八木 5 丁目 12	76.7	72.7
3	一般県道下佐東線	安佐北区安佐町筒瀬	66.7	56.1
4	一般国道 54 号	安佐北区可部南 7 丁目 17 番	74.4	71.4
5	一般国道 54 号	安佐北区可部 3 丁目 3 番	68.6	67.3
6	一般国道 54 号（可部バイパス）	安佐北区可部南 4 丁目 20 番	64.1	56.5
7	一般県道南原峡線	安佐北区可部町南原	61.5	51.4
8	一般県道宇津可部線	安佐北区亀山 2 丁目 25 番	65.3	57.9
9	一般県道今井田緑井線	安佐北区安佐町筒瀬	66.1	57.9
10	一般県道八木広島線	安佐南区八木 5 丁目 26 番	69.6	64.4

資料：「平成 21 年度版 広島市の環境（広島市環境白書）」（平成 22 年 3 月、広島市環境局）

(4) 振 動

道路交通振動は、「平成 21 年度版 広島市の環境（広島市環境白書）」（平成 22 年 3 月、広島市環境局）によると、広島市内の 7 地点で測定が行われているが、事業計画地周辺に振動の測定地点は無い。

鉄道振動は、「平成 21 年度版 広島市の環境（広島市環境白書）」（平成 22 年 3 月、広島市環境局）によると、広島市内では新幹線を対象に 3 地点、在来線を対象に 1 地点で測定が行われているが、事業計画地周辺に測定地点は無い。

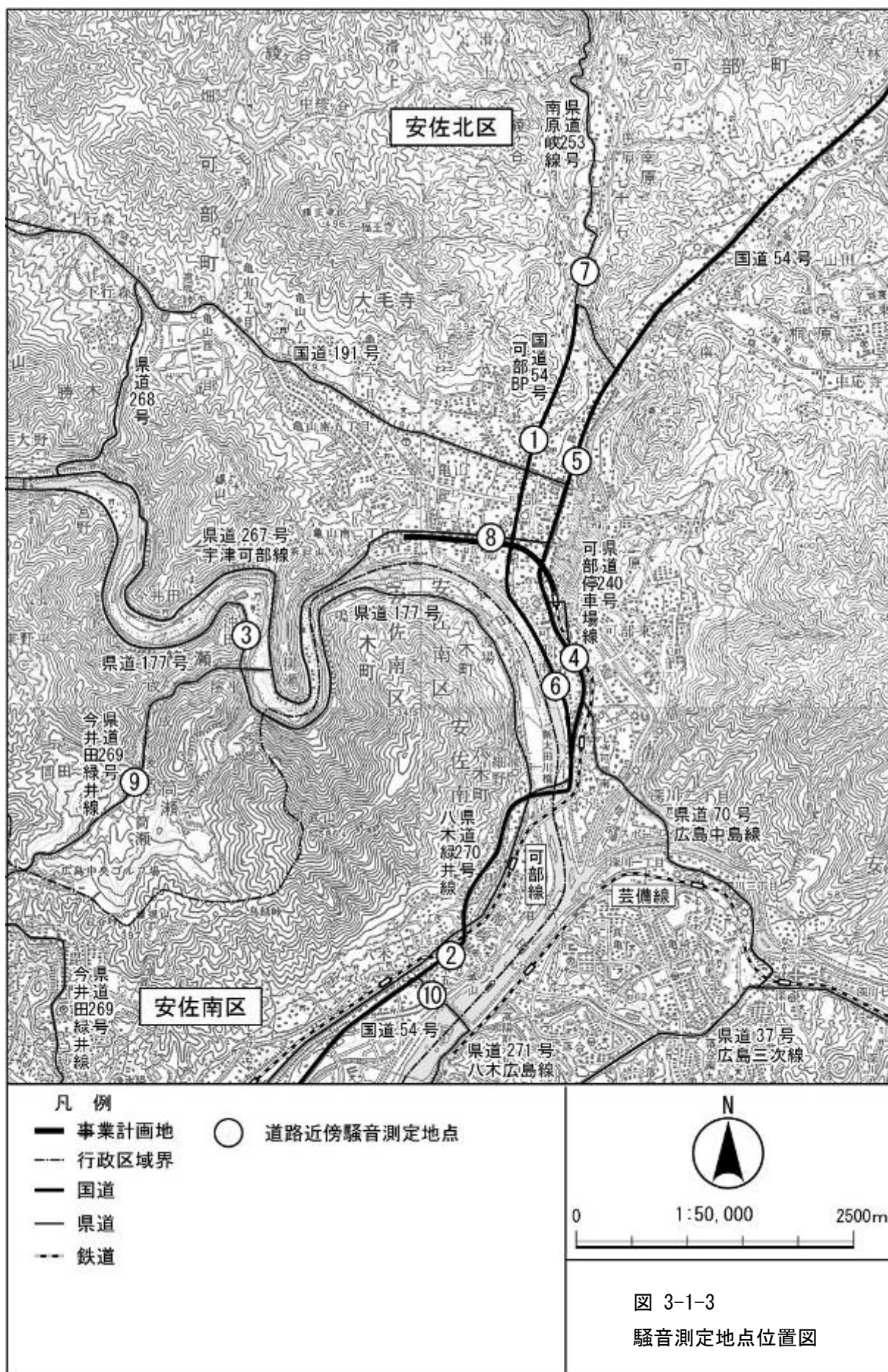
(5) 悪 臭

悪臭に関する公害苦情件数は、表 3-1-7 に示すとおりである。これによると、平成 17 年度以降平成 19 年度まで、苦情件数はおおむね減少傾向にあったが、平成 20 年度には前年度に比べて 27 件増加し、93 件となった。

表 3-1-7 年度別公害苦情件数

年度 種類	平成 16 年度 (2004 年度)	平成 17 年度 (2005 年度)	平成 18 年度 (2006 年度)	平成 19 年度 (2007 年度)	平成 20 年度 (2008 年度)
悪臭	67	87	75	66	93

資料：「平成 21 年度版 広島市の環境（広島市環境白書）」（平成 22 年 3 月、広島市環境局）



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000（地図画像）及び数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平22業複、第556号）」

2) 水環境

(1) 水 質

① 公共用水域水質測定結果

事業計画地周辺における公共用水域(河川水)の水質測定結果は、表 3-1-8 及び表 3-1-9 に示すに示すとおりである。また、測定地点は、図 3-1-4 に示すとおりである。

これによると、一般項目のうち、環境基準の定めがある生活環境項目については、大腸菌群数が環境基準の類型指定を受けている 7 地点（A 類型 4 地点、B 類型 3 地点）の全ての地点で環境基準を満たさないことがあるほか、pH、BOD、SS についても、環境基準を満たしていない地点がある。健康項目については、測定を行った全ての地点で環境基準を満足していた。

表 3-1-8 公共用水域水質測定結果（平成 20 年度）

水系		太田川水系					
河川		大井出川	帆待川	新川	桐原川	三篠川	落合川
測定地点名		大井出川 河口	帆待川 河口	新川樋門	桐原川	三篠川 河口	落合川 河口
環境基準の類型		—	—	—	—	—	—
生活環境項目	pH	7.9～8.3	8.2～8.7	7.5～8.1	7.3～7.9	—	7.5～7.7
	DO (mg/L)	10	13	11	10	—	9.6
	BOD (mg/L)	1.3	2.2	2.2	1.3	—	1.0
	COD (mg/L)	1.8	2.9	2.6	2.3	—	2.8
	SS (mg/L)	2	1	1	2	—	6
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	1.4×10^4	4.3×10^4	2.5×10^4	1.8×10^4	—	6.6×10^4
栄養塩類	全窒素 (mg/L)	—	—	—	—	—	—
	アンモニア態窒素 (mg/L)	—	—	—	—	—	—
	亜硝酸態窒素 (mg/L)	—	—	—	—	—	—
	硝酸態窒素 (mg/L)	—	—	—	—	—	—
	全リン (mg/L)	—	—	—	—	—	—
洗剤残存量 (mg/L)		—	0.21	—	—	N. D.	N. D.

注 1. 生活環境項目及び栄養塩類等の pH 以外の数値は、年平均値である。

注 2. N. D. : 検出せず（定量限界 0.1mg/L 未満）。

資料：「平成 21 年度版 広島市の環境（広島市環境白書）」（平成 22 年 3 月、広島市環境局）

表 3-1-9(1) 公共用水域水質測定結果（平成 20 年度）

測定項目		単位	行森川合流点 A 類型	太田川橋 A 類型	玖村 A 類型	環境基準	
						A 類型	B 類型
一般項目	流量	m ³ /s	—	2.8～30	—	—	—
	pH	—	7.5～8.7*	7.3～9.0*	7.4～8.0	6.5～8.5	6.5～8.5
	DO	mg/L	9.2～12	9.4～13	8.9～13	7.5 以上	5 以上
	BOD	mg/L	<0.5～1.6	<0.5～0.8	<0.5～1.0	2 以下	3 以下
	COD	mg/L	1.5～2.3	1.6～2.2	1.6～2.9	—	—
	SS	mg/L	<1～2	1～4	1～6	25 以下	25 以下
	大腸菌群数	MPN/100mL	1.7×10 ³ ～1.7×10 ³ *	3.3×10 ³ ～3.5×10 ³ *	2.3×10 ² ～3.3×10 ³ *	1,000 以下	5,000 以下
	全窒素	mg/L	—	0.55～0.91	0.54～0.80	—	—
	全燐	mg/L	—	0.013～0.025	0.009～0.033	—	—
	全亜鉛	mg/L	—	<0.002～0.006	<0.002～0.012	—	—
健康項目	カドミウム	mg/L	—	<0.0005～<0.0005	<0.0005～<0.0005	0.01 以下	
	全シアン	mg/L	—	<0.01～<0.01	<0.01～<0.01	検出されないこと	
	鉛	mg/L	—	<0.001～<0.001	<0.001～<0.001	0.01 以下	
	六価クロム	mg/L	—	<0.002～<0.002	<0.002～<0.002	0.05 以下	
	砒素	mg/L	—	<0.001～<0.001	<0.001～0.001	0.01 以下	
	総水銀	mg/L	—	<0.0005～<0.0005	<0.0005～<0.0005	0.0005 以下	
	アルキル水銀	mg/L	—	<0.0005～<0.0005	<0.0005～<0.0005	—	
	PCB	mg/L	—	<0.0005～<0.0005	<0.0005～<0.0005	検出されないこと	
	ジクロロメタン	mg/L	—	<0.0002～<0.0002	<0.0002～<0.0002	0.02 以下	
	四塩化炭素	mg/L	—	<0.0002～<0.0002	<0.0002～<0.0002	0.002 以下	
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	<0.0002～<0.0002	<0.0002～<0.0002	0.004 以下	
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	<0.0002～<0.0002	<0.0002～<0.0002	0.02 以下	
	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	<0.0002～<0.0002	<0.0002～<0.0002	0.04 以下	
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	<0.0002～<0.0002	<0.0002～<0.0002	1 以下	
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	<0.0002～<0.0002	<0.0002～<0.0002	0.006 以下	
	トリクロロエチレン	mg/L	—	<0.0002～<0.0002	<0.0002～<0.0002	0.03 以下	
	テトラクロロエチレン	mg/L	—	<0.0002～<0.0002	<0.0002～<0.0002	0.01 以下	
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	<0.0002～<0.0002	<0.0002～<0.0002	0.002 以下	
	チウラム	mg/L	—	<0.0006～<0.0006	<0.0006～<0.0006	0.006 以下	
	シマジン	mg/L	—	<0.0002～<0.0002	<0.0002～<0.0002	0.03 以下	
	チオベンカルブ	mg/L	—	<0.0001～<0.0001	<0.0001～<0.0001	0.02 以下	
	ベンゼン	mg/L	—	<0.0002～<0.0002	<0.0002～<0.0002	0.01 以下	
	セレン	mg/L	—	<0.001～<0.001	<0.001～<0.001	0.01 以下	
	亜硝酸性窒素	mg/L	—	<0.001～0.005	0.002～0.005	—	
	硝酸性窒素	mg/L	—	0.27～0.76	0.30～0.65	—	
	硝酸性及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	0.27～0.76	0.30～0.65	10 以下	
	ふっ素	mg/L	—	<0.08～<0.08	0.08～0.21	0.8 以下	
	ほう素	mg/L	—	<0.01～<0.01	<0.01～<0.01	1 以下	
特殊項目	フェノール類	mg/L	—	—	—	—	
	銅	mg/L	—	—	—	—	
	鉄	mg/L	—	—	—	—	
	マンガン	mg/L	—	—	—	—	
	クロム（全）	mg/L	—	—	—	—	
その他項目	塩素イオン	mg/L	5.8～9.1	—	—	—	
	アンモニア態窒素	mg/L	—	<0.01～0.02	<0.01～0.03	—	
	磷酸態燐	mg/L	—	0.004～0.012	0.002～0.016	—	
	TOC	mg/L	—	—	0.7～1.4	—	
	メチレンブルー活性物質	mg/L	—	—	<0.02～<0.02	—	
	濁度	度	—	—	<1～3	—	
	トリハロメタン生成能	mg/L	—	—	0.017～0.088	—	
	ふん便性大腸菌群数	個/100mL	—	—	4～140	—	

注 1. 表中の「*」は、環境基準を超過していることを示す。

資料：「公共用水域・地下水の水質調査結果（平成 20 年度）」（広島県環境部環境保全課）

表 3-1-9(2) 公共用水域水質測定結果（平成 20 年度）

測定項目		単位	灰川橋 —	桐原川合流前 B 類型	土居橋 B 類型	環境基準	
						A 類型	B 類型
一般項目	流量	m ³ /s	—	—	—	—	—
	pH	—	7.3～8.0	7.6～8.3	7.6～8.3	6.5～8.5	6.5～8.5
	DO	mg/L	8.7～12	8.2～12	8.5～13	7.5 以上	5 以上
	BOD	mg/L	<0.5～1.2	0.5～2.0	<0.5～1.9	2 以下	3 以下
	COD	mg/L	1.1～1.9	1.5～2.5	1.5～3.2	—	—
	SS	mg/L	<1～1	<1～6	<1～4	25 以下	25 以下
	大腸菌群数	MPN/100mL	5.2×10 ² ～2.2×10 ⁴	4.9×10 ² ～1.3×10 ⁵ *	2.4×10 ³ ～7.9×10 ⁴ *	1,000 以下	5,000 以下
	全窒素	mg/L	—	—	—	—	—
	全燐	mg/L	—	—	—	—	—
	全亜鉛	mg/L	—	—	—	—	—
健康項目	カドミウム	mg/L	—	—	—	0.01 以下	
	全シアン	mg/L	—	—	—	検出されないこと	
	鉛	mg/L	—	—	—	0.01 以下	
	六価クロム	mg/L	—	—	—	0.05 以下	
	砒素	mg/L	—	—	—	0.01 以下	
	総水銀	mg/L	—	—	—	0.0005 以下	
	アルキル水銀	mg/L	—	—	—	—	
	PCB	mg/L	—	—	—	検出されないこと	
	ジクロロメタン	mg/L	—	—	—	0.02 以下	
	四塩化炭素	mg/L	—	—	—	0.002 以下	
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	0.004 以下	
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	0.02 以下	
	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	0.04 以下	
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	1 以下	
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	0.006 以下	
	トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	0.03 以下	
	テトラクロロエチレン	mg/L	—	—	—	0.01 以下	
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	—	0.002 以下	
	チウラム	mg/L	—	—	—	0.006 以下	
	シマジン	mg/L	—	—	—	0.03 以下	
	チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	0.02 以下	
	ベンゼン	mg/L	—	—	—	0.01 以下	
	セレン	mg/L	—	—	—	0.01 以下	
	亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—	
	硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—	
	硝酸性及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	10 以下	
	ふっ素	mg/L	—	—	—	0.8 以下	
	ほう素	mg/L	—	—	—	1 以下	
特殊項目	フェノール類	mg/L	—	—	—	—	
	銅	mg/L	—	—	—	—	
	鉄	mg/L	—	—	—	—	
	マンガン	mg/L	—	—	—	—	
	クロム（全）	mg/L	—	—	—	—	
その他項目	塩素イオン	mg/L	4.1～8.4	8.4～21.7	10.2～29.2	—	
	アンモニア態窒素	mg/L	—	—	—	—	
	磷酸態燐	mg/L	—	—	—	—	
	TOC	mg/L	—	—	—	—	
	メチレンブルー活性物質	mg/L	—	—	—	—	
	濁度	度	—	—	—	—	
	トリハロメタン生成能	mg/L	—	—	—	—	
	ふん便性大腸菌群数	個/100mL	—	—	—	—	

注 1. 表中の「*」は、環境基準を超過していることを示す。

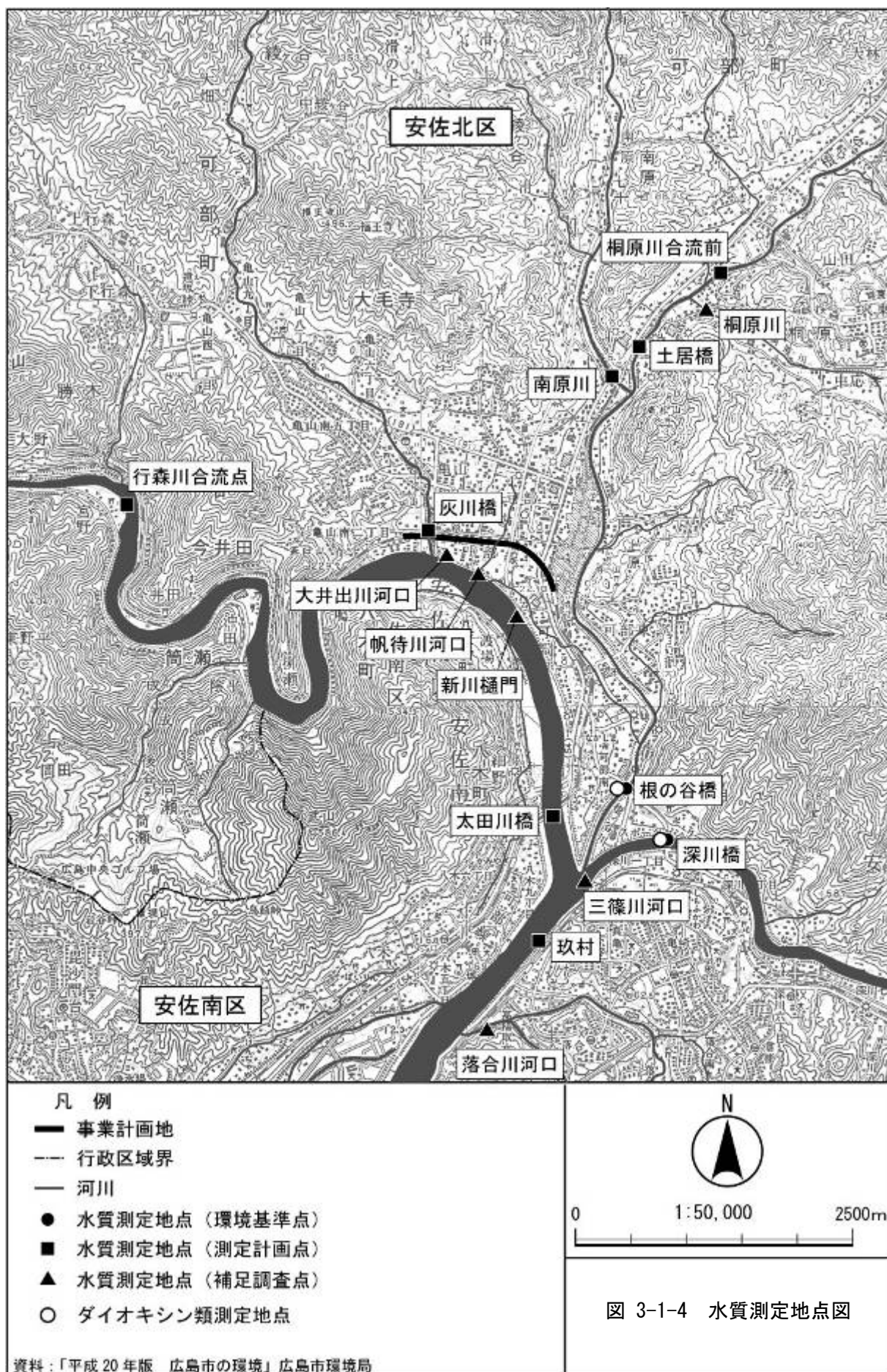
資料：「公共用水域・地下水の水質調査結果（平成 20 年度）」（広島県環境部環境保全課）

表 3-1-9(3) 公共用水域水質測定結果（平成 20 年度）

測定項目		単位	根の谷橋 B 類型	南原川 —	深川橋 A 類型	環境基準	
						A 類型	B 類型
一般項目	流量	m³/s	0.05～23	—	0.97～10	—	—
	pH	—	7.0～9.8*	7.4～7.9	7.7～8.9*	6.5～8.5	6.5～8.5
	DO	mg/L	4.6～18	8.8～12	8.4～14	7.5 以上	5 以上
	BOD	mg/L	<0.5～5.6*	<0.5～1.0	<0.5～1.1	2 以下	3 以下
	COD	mg/L	1.3～14	1.1～1.9	1.9～3.6	—	—
	SS	mg/L	<1～140*	<1～2	1～11	25 以下	25 以下
	大腸菌群数	MPN/100mL	2.2×10³～7.9×10⁴*	1.7×10³～4.9×10⁴	2.3×10²～1.7×10⁴*	1,000 以下	5,000 以下
	全窒素	mg/L	0.78～1.5	—	0.64～1.2	—	—
	全燐	mg/L	0.023～0.045	—	0.010～0.057	—	—
	全亜鉛	mg/L	0.002～0.016	—	0.002～0.012	—	—
健康項目	カドミウム	mg/L	<0.0005～<0.0005	—	<0.0005～<0.0005	0.01 以下	
	全シアン	mg/L	<0.01～<0.01	—	<0.01～<0.01	検出されないこと	
	鉛	mg/L	<0.001～<0.001	—	<0.001～0.001	0.01 以下	
	六価クロム	mg/L	<0.002～<0.002	—	<0.002～<0.002	0.05 以下	
	砒素	mg/L	0.001～0.002	—	0.001～0.001	0.01 以下	
	総水銀	mg/L	<0.0005～<0.0005	—	<0.0005～<0.0005	0.0005 以下	
	アルキル水銀	mg/L	<0.0005～<0.0005	—	<0.0005～<0.0005	—	
	PCB	mg/L	<0.0005～<0.0005	—	<0.0005～<0.0005	検出されないこと	
	ジクロロメタン	mg/L	<0.0002～<0.0002	—	<0.0002～<0.0002	0.02 以下	
	四塩化炭素	mg/L	<0.0002～<0.0002	—	<0.0002～<0.0002	0.002 以下	
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0002～<0.0002	—	<0.0002～<0.0002	0.004 以下	
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.0002～<0.0002	—	<0.0002～<0.0002	0.02 以下	
	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.0002～<0.0002	—	<0.0002～<0.0002	0.04 以下	
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002～<0.0002	—	<0.0002～<0.0002	1 以下	
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002～<0.0002	—	<0.0002～<0.0002	0.006 以下	
	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002～<0.0002	—	<0.0002～<0.0002	0.03 以下	
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002～<0.0002	—	<0.0002～<0.0002	0.01 以下	
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002～<0.0002	—	<0.0002～<0.0002	0.002 以下	
	チウラム	mg/L	<0.0006～<0.0006	—	<0.0006～<0.0006	0.006 以下	
	シマジン	mg/L	<0.0002～<0.0002	—	<0.0002～<0.0002	0.03 以下	
	チオベンカルブ	mg/L	<0.0001～<0.0001	—	<0.0001～<0.0001	0.02 以下	
	ベンゼン	mg/L	<0.0002～<0.0002	—	<0.0002～<0.0002	0.01 以下	
	セレン	mg/L	<0.001～<0.001	—	<0.001～<0.001	0.01 以下	
	亜硝酸性窒素	mg/L	0.003～0.010	—	0.004～0.008	—	
	硝酸性窒素	mg/L	0.47～1.3	—	0.29～0.95	—	
	硝酸性及び亜硝酸性窒素	mg/L	0.48～1.3	—	0.30～0.96	10 以下	
	ふっ素	mg/L	0.09～0.09	—	0.11～0.11	0.8 以下	
	ほう素	mg/L	0.01～0.01	—	0.01～0.01	1 以下	
特殊項目	フェノール類	mg/L	—	—	—	—	
	銅	mg/L	—	—	—	—	
	鉄	mg/L	—	—	—	—	
	マンガン	mg/L	—	—	—	—	
	クロム（全）	mg/L	—	—	—	—	
その他項目	塩素イオン	mg/L	—	4.4～7.4	—	—	
	アンモニア態窒素	mg/L	<0.01～0.03	—	<0.01～0.02	—	
	磷酸態燐	mg/L	0.005～0.034	—	0.002～0.038	—	
	TOC	mg/L	—	—	—	—	
	メチレンブルー活性物質	mg/L	—	—	—	—	
	濁度	度	—	—	—	—	
	トリハロメタン生成能	mg/L	—	—	—	—	
	ふん便性大腸菌群数	個/100mL	—	—	—	—	

注 1. 表中の「*」は、環境基準を超過していることを示す。

資料：「公共用水域・地下水の水質調査結果（平成 20 年度）」（広島県環境部環境保全課）



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000（地図画像）及び数値地図25000（地図画像）を複製したものである。
（承認番号 平22業複、第556号）」

② ダイオキシン類調査結果

事業計画地周辺における河川の水質のダイオキシン類調査結果は表 3-1-10 に、調査地点は図 3-1-4 に示すとおりである。

これによると、事業計画地周辺の調査地点である 2 地点とも環境基準を満たしている。
なお、その他の市内の調査地点においても環境基準を満たしている。

表 3-1-10 ダイオキシン類（公共用水域（河川 水質））調査結果（平成 20 年度）

単位：pg-TEQ/L

調査地点	第 1 回 7 月	第 2 回 11 月	年平均値	環境基準値 (年平均値)
根谷川 根の谷橋	0.027	0.028	0.028	1
三篠川 深川橋	0.16	0.041	0.10	1

資料：「平成 21 年度版 広島市の環境（広島市環境白書）」（平成 22 年 3 月、広島市環境局）

(2) 底 質

① 底質調査結果

「平成 21 年度版 広島市の環境（広島市環境白書）」（平成 22 年 3 月、広島市環境局）によると、事業計画地周辺において河川の底質（pH、COD、強熱減量、硫化物総量、含水率、カドミウム、鉛、ヒ素、総水銀、アルキル水銀、PCB、銅、クロム、酸化還元電位）の調査地点は設けられていない。

② ダイオキシン類調査結果

事業計画地周辺における河川の底質のダイオキシン類調査結果は表 3-1-11 に、調査地点は図 3-1-4 に示すとおりである。

これによると、事業計画地周辺の調査地点である 2 地点とも環境基準を満たしている。
なお、その他の市内の調査地点においても環境基準を満たしている。

表 3-1-11 ダイオキシン類（公共用水域（河川 底質））調査結果（平成 20 年度）

単位：pg-TEQ/g

調査地点	7 月	環境基準値
根谷川 根の谷橋	0.18	150
三篠川 深川橋	0.22	150

資料：「平成 21 年度版 広島市の環境（広島市環境白書）」（平成 22 年 3 月、広島市環境局）

(3) 地下水汚染

① 地下水調査結果

事業計画地周辺における地下水調査（概要調査、定期モニタリング調査）は、表 3-1-12 に示すとおり安佐北区の 2 地点であり、安佐北区⑥においてトリクロロエチレン及びテトラクロロエチレンが環境基準を満たしていないが、他の項目は環境基準を満たしている。

表 3-1-12 地下水調査結果（平成 20 年度）

単位：mg/L

調査地点	概況調査	定期モニタリング調査	環境基準
	安佐北区②	安佐北区⑥	
測定回数	1	2	—
カドミウム	N. D.	—	0.01 以下
全シアン	N. D.	—	検出されないこと。
鉛	N. D.	N. D.	0.01 以下
六価クロム	N. D.	—	0.05 以下
砒素	N. D.	0.006	0.01 以下
総水銀	N. D.	—	0.0005 以下
P C B	N. D.	—	検出されないこと。
ジクロロメタン	N. D.	—	0.02 以下
四塩化炭素	N. D.	—	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	N. D.	—	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	N. D.	0.003～0.013	0.02 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	N. D.	0.009～0.019	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	N. D.	0.024～0.054	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	N. D.	—	0.006 以下
トリクロロエチレン	N. D.	0.011～0.031*	0.03 以下
テトラクロロエチレン	N. D.	0.010～0.012*	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	N. D.	—	0.002 以下
チウラム	N. D.	—	0.006 以下
シマジン	N. D.	—	0.003 以下
チオベンカルブ	N. D.	—	0.02 以下
ベンゼン	N. D.	N. D.	0.01 以下
セレン	N. D.	—	0.01 以下
硝酸性及び亜硝酸性窒素	1.7	0.92～0.94	10 以下
ふっ素	0.1	0.21～0.24	0.8 以下
ほう素	N. D.	N. D.	1 以下

注 1. N. D. : 検出せず（定量限界未満）

注 2. 表中の「*」は、環境基準を超過していることを示す。

環境基準は年間平均値（ただし、全シアンに係る基準値については、最高値）

資料：「平成 21 年度版 広島市の環境（広島市環境白書）」（平成 22 年 3 月、広島市環境局）

② ダイオキシン類調査結果

事業計画地周辺における地下水のダイオキシン類調査結果は、表 3-1-13 に示すとおりである。これによると、安佐北区 可部六丁目で調査が行われており、環境基準を満たしている。なお、その他の市内の調査地点においても環境基準を達成している。

表 3-1-13 ダイオキシン類（地下水）調査結果（平成 20 年度）

単位：pg-TEQ/L

調査地点	調査結果	環境基準値
安佐北区 可部六丁目	0.012	1

資料：「平成 21 年度版 広島市の環境（広島市環境白書）」（平成 22 年 3 月、広島市環境局）

(4) 水 象

事業計画地周辺は、太田川水系の流域にあたり、太田川に流れ込む中小河川として、行森川、大毛寺川、根の谷川等がある。

3) 土壌環境

(1) 地形・地質

① 地 形

事業計画地周辺の地形の状況は、図 3-1-5 に示すとおりである。

事業計画地周辺の地形は、太田川により大きく 2 分され、右岸側は河川沿いに「中起伏山地」となり、傾斜が急となっている。一方、左岸側は支川である行森川、大毛寺川、根の谷川等の中小河川の「谷底平野」が発達し、その上流部に「岩石段丘」、「丘陵地」、「山麓地」、「小起伏山地」、「中起伏山地」が連なっている。

② 地 質

事業計画地周辺の地質の状況は、図 3-1-6 に示すとおりである。

事業計画地周辺の地質は、太田川及びその支川沿いの谷底平野には「砂・粘土・礫（沖積層）」が広がる。また、山地・丘陵・台地には「泥質岩」と「花崗岩質岩石」が広がり、一部に「斑岩」が分布している。

(2) 地盤沈下

「平成 20 年度版 全国地盤環境情報ディレクトリ（広島県広島平野）」（環境省ホームページ）によると、「昭和 30 年頃から広島市の市街地（広島平野）で沈下が認められたが、最近では停滞している。」と記されている。図 3-1-7 に「広島平野地域地盤沈下地域等の範囲及び位置図」を示すが、地盤沈下が認められた地域は、広島平野の海岸部であり、事業計画地周辺では、地盤沈下に関する情報は無い。

(3) 土壌汚染

① ダイオキシン類調査結果

事業計画地周辺における土壌のダイオキシン類調査結果は、表 3-1-14 に示すとおりである。

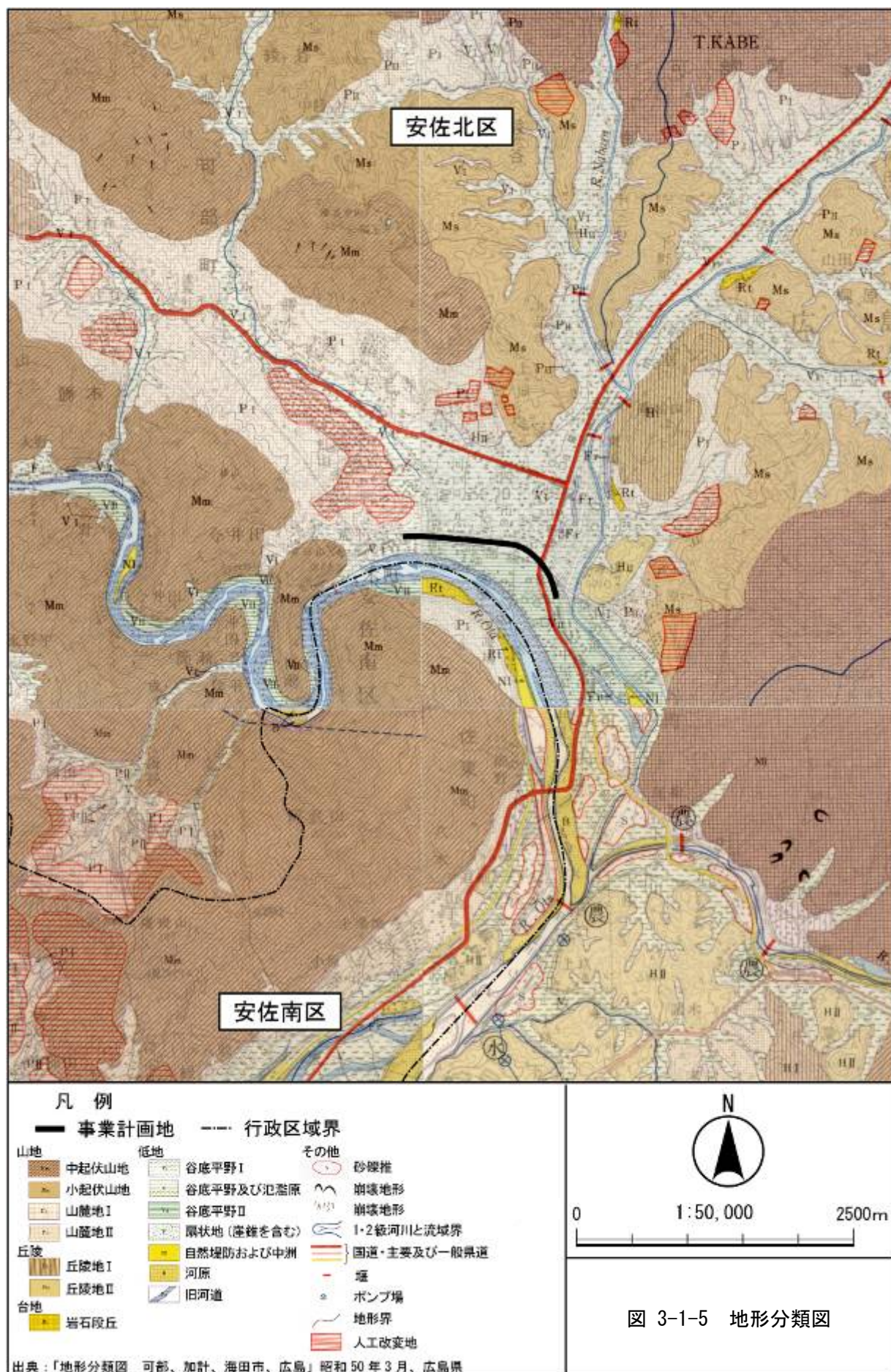
これによると、安佐北区 安佐町筒瀬で調査が行われており、環境基準を満たしている。なお、その他の市内の調査地点においても環境基準を満たしている。

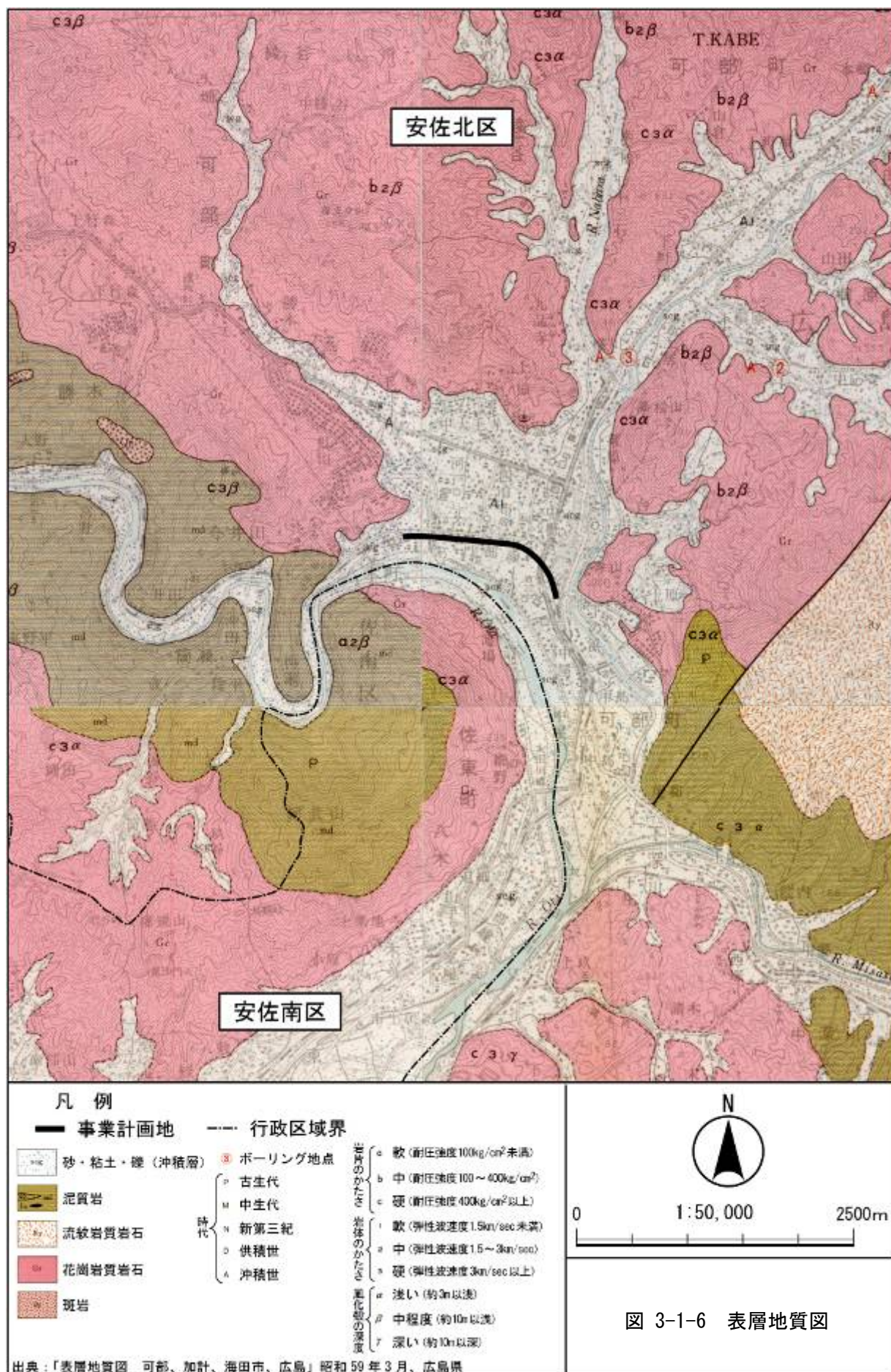
表 3-1-14 ダイオキシン類（土壌）調査結果（平成 20 年度）

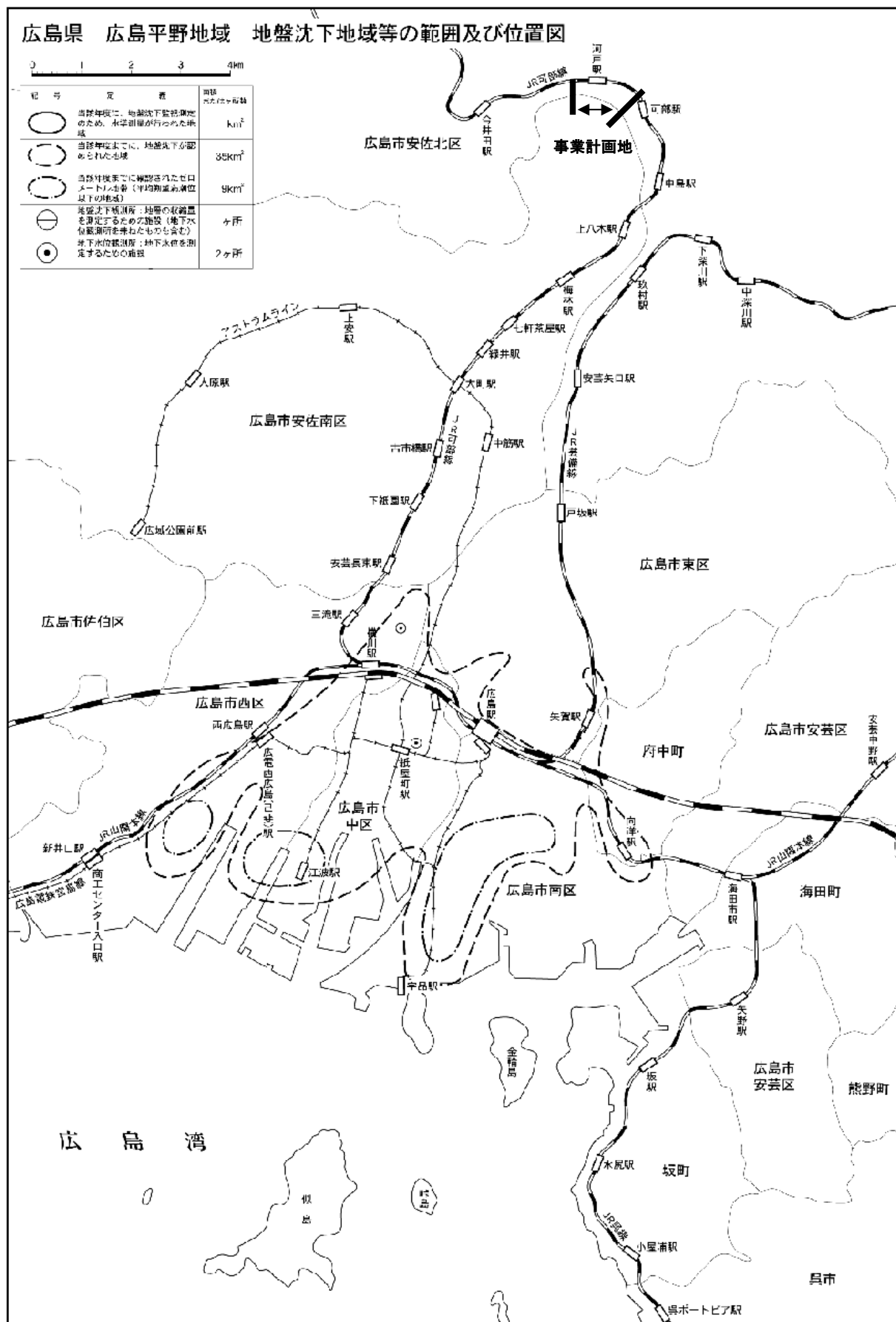
単位：pg-TEQ/g

調査地点	調査結果	環境基準値
安佐北区 安佐町筒瀬	0.28	1,000

資料：「平成 21 年度版 広島市の環境（広島市環境白書）」（平成 22 年 3 月、広島市環境局）







資料：「平成 20 年度版 全国地盤環境情報ディレクトリ（広島県 広島平野）」環境省ホームページ

図 3-1-7 広島平野地域地盤沈下地域等の範囲及び位置図